

NALC横浜 第21回定時総会議事録

日時: 平成27年6月13日(土曜日)10時00分～11時10分 (記念行事12時10分～、懇親会15時00分～)

会場: 横浜市旭区民文化センター(サンハート)

来賓: NALC本部 副会長(東京事務所統括) 河口博行様、事務局長 西村順子様
高槻・島本拠点 代表 田中千鶴子様
栃木拠点 代表 走出政視様
川崎拠点 代表 花崎良政様、副代表 石川太様、事務局長 黒田睦男様
東横浜拠点 事務局長 川島弘様、顧問 柿田健一郎様
南横浜拠点 代表 小野里康興様、副代表 佐藤文俊様、副代表 早川和子様
東京拠点 事務局長 大坪幸治様

司会: 西崎史郎 議長: 吉武道子 書記: 谷村勝彦

1. 開会宣言

西崎司会から、出席90人および委任状196人、合計286人であり、会員総数488人の1/3(163人)以上を充たしているので総会が成立した旨の報告があり、開会を宣言した。

2. 吉川代表挨拶

ナルク横浜の26年度は、会員数増加は32人で全国拠点129のうちトップである。これはイベントやロコミでの勧誘の成果である。また時間預託は6,889時間で、全国第3位である。

ナルク横浜は今年20周年を迎えたが、この数年で特筆すべきことは、

- ① 毎月、活動会員数の90人、時間預託の550時間を維持し、拠点の財源が確保できていること。
- ② 鶴ヶ峰駅近くに事務所を借りられて、サロン活動など会員同士の交流が深まった。
- ③ 活動管理システム・N-ONE導入により、正確かつ迅速に活動結果を管理できるようになった。

今後、ナルク横浜は「助け合いを忘れずに」を基本に、ブロックの壁を乗り越えて

- ① 会員拡大 ② 生活支援 ③ 成年後見活動 ④ 八十路会活動 などを続けていく。

3. 来賓挨拶、専務理事 河口博行様

本部としての立場からのナルク横浜への激励、世の中が変化し介護保険法の改正による高齢者の生き方・暮らし方を変えねばならない旨などの挨拶があった。

4. 来賓、祝電紹介

司会より来賓者全員および祝電を紹介

5. 議事 (以下、要点のみ記載)

- 1) 第1号議案 平成26年度一般経過報告: 福江事務局長
(21シートのパワーポイントを用いての説明)

* 26年度の会員数は480人(32人増)、時間預託は6,889時間(8%増)、奉仕活動は5,399時間

であった。時間預託、奉仕活動に同好会活動(概算)を含めると総活動時間は17,000時間となり、現在41%の時間預託比率を50%にしていきたい。

- * 26年度の大きな課題はナルク横浜設立20周年記念活動と、介護保険法改正に伴う「介護予防・生活支援総合事業」への対応だった。
- * 5月のナルク設立20周年記念行事(仙台プロジェクト)への参加を終えたのち、記念行事チーム、記念誌チーム、助け合いチーム、会員拡大チーム、成年後見チーム、八十路会チームを、編成し前記課題への対応を進めた。
- * 今年度も10年先のナルク横浜30周年に向け「地道にコツコツ」と活動していく。

2) 第2号議案 平成26年度決算報告:上菌会計

収入支出および財産の詳細は議案書7頁の通りである。

年間の収支差は191,284円となり、年度末正味財産は11,250,468円となった。

3) 第3号議案 監査報告:沼沢監事

決算書類等に基づき監査を実施し、正確かつ適正な会計処理であったことを確認した。

4) 第4号議案 平成27年度の活動方針:吉川代表

次の7項目を重点活動項目とする。

- ①生活支援と助け合い ②会員数の拡大 ③「ほっとサロン」で楽しく ④ブロック間の交流
- ⑤元気な八十路会 ⑥共に学ぼう ⑦ナルク本部、東京事務所、神奈川・東京5拠点との連携強化

5) 第5号議案 平成27年度予算:上菌会計

収入3,652千円、支出3,652千円(含む20周年記念誌・総会後の懇親会費)、収支差なし

6) 第6号議案 運営規則

変更なし

7) 質疑応答

なし

8) 運営委員の退任・新任、監事新任の紹介

退任:西野斉・田原菜穂美

新任:吉田由美子、綿谷栄美、穂山孝

監事新任:真砂野孝

9) 議長は全議案に対して、拍手により出席者の賛意を確認した。

以上